

感覚器・理学診療科

眼科

TEL 022-717-7757(外来)

完全予約制

科長 中澤 徹



診療科WEB



外来担当医表

眼科では医局員各々が専門分野を持ち、最新知見や知識を共有し「失明ゼロ」を目指して診療に従事しています。緑内障外来では血液中の酸化ストレス値や末梢毛細血管の血流動態を測定し眼圧以外の進行リスクについて研究を行い、生活指導やサプリメント内服も治療に取り入れています。また冷え性や睡眠時無呼吸症候群など緑内障との関連が報告されている因子に対し、他科と連携して精査・治療を行っています。網膜・ぶどう膜外来では27ゲージ針による極小切開硝子体手術や、術中眼底OCTといった最新鋭の機器を用いて手術を行っています。眼内の感染症に対してはPCR検査を行うことで、迅速かつ正確に診断を行い、治療予後改善に役立てています。角膜ドライアイ外来では角膜病変深度に応じた角膜パーツ移植を施行し、良好な手術成績を挙げています。また、角膜感染症患者の微量な検体から原因ウイルス・細菌を特定するPCR検査を行っております。神経斜視外来では最新の画像診断装置・遺伝子検索を診断に用い、他科と密な連携治療を行っています。さらに斜視・弱視の専門医師による斜視手術・弱視治療を行っています。

主な対象疾患

診断・治療にお困りのすべての疾患を対象とし眼科疾患別に専門外来を設けています。緑内障外来は他院での治療が難しい末期緑内障症例だけでなく、発症初期の若い緑内障症例も緑内障進行リスク精査のために県内外より御紹介頂いております。網膜ぶどう膜外来は手術が必要な症例や加齢黄斑変性症などの薬物治療が必要な症例、神経斜視外来は腫瘍や斜視・弱視の症例、角膜・ドライアイ外来では、難治性角膜混濁疾患や角膜感染症などを対象に診療を行っております。